

南庄頭附近戰鬥詳報

步兵第三十聯隊第二大隊



82

1024 1023

南庄頭附近戰鬥詳報

步兵第三十聯隊第二大隊



1024, 1023

自昭和十二年十月十三日
至同 十一月三日

南庄頭附近戰鬪詳報

歩兵第三十聯隊第二大隊

第一戰鬪前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

一篠原兵團ハ十月十二日以來魏家庄西南方高地ヨリ閭庄蘭村附近ニ互リ堅固ニ陣地ヲ占領セル敵ヲ攻撃シ大唐林北側小流ノ線ニ進出ヲ企圖シ敵ノ頑強ナル抵抗ヲ破摧シツ、十月二十三日其ノ第一線ハ水油灣西側高地ヨリ衛村北側高地魏家庄南側ヲ経テ大白水東北角ノ線ニ進出シ盟勝村西北方高地同地東南方高地ヨリ大白水小白水附近ニ互リ陣地ヲ占領セル敵ト相對峙シアリ

ニ猪鹿倉部隊(第二第三大隊及伊藤部隊)ハ
兵團右翼隊トシテ水油灣西側附近ノ高地ニ進
出シアリ

大隊ハ兵團豫備トシテ南庄頭ニ位置シ歩兵一
小隊機関銃一小隊ヲ魏家庄西側高地ニ派遣
シ同地ニ在ル砲兵ノ直接掩護ニ任セシメツアリ
第二戦闘ニ影響ヲ及ホセシ天候氣象及戦闘地ノ

状態

一 天候ハ十月二十六日夜降雨アリシ外晴天若クハ曇
天ニシテ戰鬥ニ大ナル影響ヲ及サス氣温ハ晝間ハ
稍々寒冷ヲ覺ユル程度ナリ^{シモ}夜間ハ零下三度ヲ下

リシコトアルモ毛布防寒具等ナク全期間全ク露營
セシ部隊ノ為ニ相當ノ寒冷ヲ覺エ壕内ニ高梁木
殼ヲ敷キ又之ニテ掩蔽シテ寒ヲ凌ケリ南方ニ向ヒ
戦闘動作ヲナセシ爲日照間ハ逆光線ノ爲目標
ノ視察ヲ稍々困難ナラシメタリ

日出午前六時日没午後五時三十分ニシテ後半夜ハ
概ネ月明アリ

ニ戦闘地ハ一帯ノ高地帯ニシテ樹木殆ントナク地形ハ
全ク地圖ト異ナリ斜面ハ高サ四五米ノ階段狀ヲ形
成シ加フルニ縦横ニ大地隙ノ走行スルアリテ大ナリ
シハ幅四五百米深サ百米乃至百五十米ニ達シ

樺拿登降下共ニ困難ナルノミナラス通路ハ局限セラレ敵火ノ下ニ於ケル通過ヲ困難ナラシメタリ

三、給水ハ當初ハ南峪東南方水流次テ衛村附近ノ水流ニヨルノ他ナク炊事ハ同地ニテナシ敵彈下ヲ斜面ヲ登降シテ運搬セサルヘカラサル狀能ハナレリ第三、各時期ニ於ケル戦鬥經過及之ニ關聯セル

隣接團隊ノ動作（附圖第一參照）

十月二十三日

一、篠原兵團ハ十月二十四日板垣兵團ノ攻撃ニ策應シ敵ヲ攻撃シ大唐林北方ニ進出スルニ決シ大隊ハ正午篠作命甲第百五十四號ニヨリ右翼隊長

タル猪鹿倉部隊(聯隊)長、指揮ニ復歸セシメラ
レ大隊長ハ各隊長ヲ伴ヒ午後四時四十分南庄
頭ヲ出發水油湾ニ在ル聯隊長、許ニ先行シ
午後四時三十分同地西側伊藤部隊ノ陣地ニ於
テ南峪南方高地ヲ奪取スヘキ聯隊ノ企圖及大隊ノ
行動ニ関スル命令ヲ現地ニ就テ受ケ敵情地形ヲ
視察シ午後五時各中隊長ニ左ノ命令ヲ口達ス

大隊命令ノ要旨

一敵情ハ諸官ノ目撃スル通り
ニ大隊ハ右翼隊中第一線トナリ(四ハ)ノ敵陣地ヲ
攻撃シ其ノ後端ニ進出セントス

三 第五中隊（一小隊欠附一小隊ヲ屬ス）ハ右第一線第七中隊左第一線展開線ハ前方高地脚、攻撃前
進ノ時期ハ別命ス

四 機関銃中隊（二小队欠）ハ水流北側丘阜附近ニ陣地ヲ占領シ主トシテ第七中隊ノ突撃ニ協力スヘシ

五 歩兵砲小队ハ機関銃ノ右側ニ陣地ヲ占領シ（イ）（ニ）附近ニ現出スル敵側防火器ヲ射撃シ第一線中隊ノ攻撃ニ協力スヘシ

六 第五中隊ノ一小隊及工兵小队ハ豫備隊第七中隊ノ後方ニ繞行スヘシ

第六中隊及機関銃一小隊ハ聯隊直轄トナル予定

七予ハ第七中隊ノ後方ヲ前進ス

ニ大隊ハ午後五時三十分南庄頭出發夜暗^暗ヲ利用
シテ午後六時五十分水油灣寺院ニ到着シ明拂曉
ノ攻撃ヲ準備ス

午後七時三十分別紙第一高作命甲第五十七號ヲ
受領シ別紙第二長作命甲第五號ヲ下達シ第
六中隊ヲ聯隊豫備トシ及戸塚准尉ノ指揮スル
機関銃一小隊ヲ第一中隊長ノ指揮ニ入ラシム
ニ大隊ニ協力スヘキ田中大尉ノ指揮スル工兵小隊ハ正
子頃水油灣ニ到着ス

十月二十四日

一大隊(第六中隊及附一小隊欠工兵小隊ヲ含ム)八午前ニ
時水油灣寺院出發第一大隊ニ連繫シ第一線ハ
午前四時拂曉攻撃準備位置ニ到着午前五時
三十分展開ヲ終ル

二午前八時我カ砲兵ハ攻撃準備射撃ヲ続イテ午前
十時ヨリ突撃支援射撃ヲ實施シ大隊長ハ之ニ
膚接シテ第一線中隊ニ攻撃前進ヲ命ス

第一線中隊ハ機関銃歩兵砲協力ノ下ニ階段斜面
ヲ攀登シ退却スル敵ヲ追尾シテ第七中隊ハ午前
十一時ハ高地ヲ占領セルニ後方(ト)チリノ敵第二線陣
地ヨリ猛烈ナル敵ノ射撃ヲ受ケ而モ前面斷崖ハ

通過困難ニシテ同地ヲ確保シツ、停止ス

第五中隊ハ(四)高地奪取ノ餘勢ヲ以テ地形ト戰機ヲ看破シテ午前十一時十分ハ高地ヲ奪取シテ(ホ)高地ヨリ敵機関銃ノ斜射ヲ受ケタルヲ以テ大島一分隊ヲ以テ(ホ)高地ヲ攻撃セシメ其ノ高地縁端ヲ占領シ敵ノ手榴彈攻撃ニヨリ之ト至近ノ距離ニ相對峙スルニ至ル

當時第一大隊ノ一中隊ハ(イ)高地ヲ奪取シ其ノ西側高地ノ敵ト相對峙シツ、アリシカ第五中隊ノ此ノ果敢ナル攻撃ハ南岬東南方高地帯ニ於ケル右翼隊ノ攻撃ヲ進展ヲ著シク有利ナラシメタルモノト認ム

伊藤部隊ハ大隊ニ繞イテ(ニ)高地ヲ奪取セリ

第一線中隊(四)ハ高地ヲ奪取スルヤ歩兵砲小隊ハ
(四)高地附近ニ陣地ヲ交換シテ主トシテ第五中隊
ノ戦斗ニ又機関銃中隊ハ(ハ)高地ニ陣地ヲ交換シ主
トシテ第七中隊ノ戦斗ニ協力セリ

三 大隊長ハ隊勢ヲ整理シ占領地点ヲ確保シ爾後
ノ攻撃ヲ準備スルニ決シ工事ヲナサシムルト共ニ前面
ノ敵情地形ヲ偵察セシム

四 敵迫撃砲ハ(ト)高地東側ニ現出シテ第七中隊正
面ヲ射撃ス午後七時別紙第三高作命甲第
五十八號ヲ受領シ別紙第四長作命甲第六號ヲ

下達シ且伊藤部隊ト明拂曉ノ攻撃ニ因シ協定ス
五 戰鬥經過附圖第一ノ如シ

夜ニ入ルヤ敵ハ我カ夜襲ヲ阻止セントスルモノ、如ク猛
烈ナル射撃ヲ我カ第一線ニ浴セタリ

(ホ)高地ヲ占領セル大島分隊ハ本夜暗ニ乘シ第三中
隊ノ一分隊ト交代シ中隊主力ニ復歸セリ

十月二十五日

一 午前一時ハ高地ヲ占領セル第五中隊ノ正面ニ對シ(ト)
高地西南側凹地方向ヨリ敵兵約五十手榴彈ヲ
投擲シツ、逆襲シ来リタルモ八名ノ死傷者ヲ出セルノミ
第五中隊ハ善戰之ニ多大ノ損害ヲ其ヘテ撃退セリ

ニ午前五時別紙第五長作命甲第七號ヲ下達シ
先ツ第五中隊ヲシテ現在地ヲ確保シ第一大隊及ヒ
堤支隊ノ庄玉村東方高地ニ對スル攻撃前進ヲ掩
護セシムルト共ニ昨夜伊藤部隊ト協定セル所ニ基
キ第七中隊及機關銃ヲ以テ伊藤部隊ニ協力シ
其ノ攻撃前進ヲ掩護シタル後ハ高地ヲ奪取スル
ニ決シ敵ノ制壓ニ努ム

ニ我カ砲兵ハ午前八時三十分ヨリ攻撃準備射撃ヲ
實施シ伊藤部隊ハ逐次前進シ又高地端ニ於テ突
撃準備中ナリシカ午後一時十分又高地ニ向ヒ突進
ヲ開始セルヲ以テ第七中隊及機關銃ノ全火力ヲ以テ

之ヲ掩護シ同部隊ノハ高地ヲ占領スルヲ目撃スル
ヤ之ニ連繫シテ(リ)高地ヲ奪取スヘク午後一時三十分
別紙第六長作命甲第八號ヲ下達シ攻撃前
進ヲ命ス

四第五中隊ハ古垣小隊(附一分隊ヲ附ス)ヲハ高地ニ残置
シテ右側背ヲ掩護セシメ主力ヲ以テ歩兵砲小隊協
力ノ下ニ敵火ヲ冒シテ(ハ)高地次イテ(チ)高地ノ敵ヲ驅
逐シテ之ヲ奪取シ第七中隊ハ地隙断崖ヲ降り更
ニ(リ)高地地隙及階段斜面ヲ攀登シテ同高地ノ
敵ヲ驅逐シ之ヲ占領セリ時ニ午後四時ナリ
敵ハ若干ノ抵抗ヲ試ミタルモ我カ攻撃前進ニヨリ

逐次第第三線陣地ニ向ヒ後退セリ

第七中隊ハ(イ)高地斜面攀登ニ先タテ大隊長ハ
大隊副官西野少尉ヲシテ同高地頂界線ニ進出シ

台上、敵情搜索ヲ命スルヤ同少尉ハ勇躍單身

敵火ヲ冒シテ高地上ニ進出シ敵ノ逐次退却中

ナルヲ報告シ大隊主力ノ攻撃ヲ有利ナラシメタリ

五大隊ノ(チ)高地ヲ占領スルヤ敵ノ第三線(ワ)(カ)(ヨ)(タ)

(イ)陣地ニアル敵機関銃ハ猛烈ナル斜射側射ヲ浴

セ特ニ(ワ)高地ヨリスル敵ノ側射ハ熾烈ナルノミナラス

更ニ同高地附近ニ敵ノ山砲現出シ大隊正面附

近ヲ射撃シ我カ前進ヲ阻止ス

大隊長ハ直チニ工兵援助ノ下ニ占領地ニ工事ヲ施シ
テ之ヲ確保シ敵ノ逆襲ニ備ヘシム

又(1)高地ヨリ第五中隊ノ占領セル(チ)高地ニ至ル間ハ地
隙間ノ小徑ヲ辿リ敵ニ暴露シ頻リニ敵ノ狙撃ヲ
受ケタルヲ以テ工兵ヲ以テ通路ノ掩蔽設備ヲナサシメ
交通ヲ確保セリ

六午後六時別紙第七高作命申第五十九號ヲ受領
シ別紙第八長作命申第九號ヲ下達シ爾後ノ
攻撃ヲ準備セシム

七(ハ)高地ヨリ占領セル古垣小隊ハ夕刻第二中隊ト守
備ヲ交代(又)高地ニ在ル中隊ノ位置ニ復歸ス

機関銃中隊ハ薄暮ニ乘シハ高地ニ陣地ヲ変換
シ歩兵砲小隊ハ午後八時ハ高地ニ到着陣地ヲ
占領セリ

速射砲中隊ハ夜暗ヲ利用シテ第五中隊正面ニ陣
地ヲ推進セリ

ハ敵ノ射撃ハ夜ニ入リテ依然猛烈ヲ極ム

本日ニ於ケル大隊ノ戦ハ経過附図第二ノ如シ

十月二十六日

午前一時及二時、二回ニ亘リ敵ハ大隊正面ニ對シ小
銃及機関銃ヲ以テ火力急襲ヲ行ヒ第五中隊正
面ニ對シテハ一部隊手榴彈ヲ投擲シツ、夜襲シ来

リ同中隊ニ二名、負傷者ヲ出セルモ勇戦之ヲ撃退セリ

ニ偵察ノ結果大隊前面、地隙ハ大断崖ヲ形成シ左側伊藤部隊ト、中間谷地附近ニ一條ノ通路アルノミナリ前面(ヨ)(タ)高地、敵ハ朝来兵力ヲ増加シ頑強ナル抵抗ヲナシ其、自動火器ハ階段地形ヲ利用セル掩蓋銃眼内ニ隱蔽セラレアリテ我カ小銃機関銃ヲ以テスル制壓困難ナルヲ以テ大隊長ハ歩兵砲小隊ヲシテ先ツ(タ)(レ)高地附近、掩蓋銃眼ヲ破壊セシムルト共ニ速射砲中隊ニ對シ(カ)(ヨ)(タ)高地附近敵掩蓋銃眼、破壊ヲ又友軍砲兵ニ對シ

協力ヲ要求セルモ敵ノ工事堅固ニシテ成果意ノ如ク
ナラス更ニ盟勝村附近ニ敵ノ迫撃砲アルモノ、如
ク大唐林方向ノ敵砲兵ト共ニ頻リニ大隊正面ヲ射
撃ス此処ニ於テ大隊長ハ工兵協力ヲ下ニ益々占領
地点ノ工事ヲ増強シ損害ヲ減少シツ、敵情偵察
ニ努メタリ

春日大尉以下二十六名ノ補充員到着シ午後一時
第六中隊以外ノ者ハ第一線ニ増加ス

三伊藤部隊ハ地形ヲ利用シ(レ)(ハ)高地ニ向ヒ攻撃ヲ
続行シツ、アリシカ午後三時突撃ヲ開始セルヲ以テ
大隊ハ第七中隊及機関銃歩兵砲ノ全火力ヲ以テ、

(1)高地ノ敵ヲ射撃シ之ニ協力セル敵ノ抵抗頑強ニシテ高地縁端ヲ占領スルニ至ラサルモノ、如シ

本日ニ於ケル戦斗経過附圖第三ノ如シ

四午後七時三十分頃ヨリ霖雨アリ夜間ニ入りテ益々著シク断崖通路ノ前進困難トナル敵ハ夜ニ入リ益々猛烈ナル射撃ヲ大隊正面ニ浴ビ我カ前進ヲ阻止ス

五午後八時別紙第九高作命甲第六〇號ヲ受領シ別紙第十長作命甲第十號ヲ下達シ引続キ爾後ノ攻撃ヲ準備ヲ続行ス

十月二十七日

一夜来ノ霖雨ハ雪トナリ朝ニ至リテ霽レタルモ道路
泥濘トナリ交通ハ相當ノ困難ヲ伴ヒリ前面ノ敵
ノ抵抗ハ依然頑強ニシテ其ノ射撃ハ活潑ナリ
大隊ハ引籠キ歩兵砲ヲ以テ敵掩蓋銃眼ヲ破
壊セシメ且ツ速射砲砲兵ノ協力ヲ要求シ之ヲ破
壊ニ努メタルモ敵ハ巧ニ所々ニ設備セル豫備銃
眼ニ自動火器ヲ移動シテ我カ攻撃手ヲ妨害シ攻
撃進捗セス

ニ本朝以来大隊後方凹地ニ兵力ヲ集結シテ敵情
ヲ偵察中ナリシ堤支隊ハ大隊掩護射撃ノ下
ニ薄暮ヲ利用シテ大隊西側地隙内通路ヲ通過

シ伊藤部隊ト協力シテ(レ)以東ノ高地ノ奪取ニ努メ
タルモ奏功スルニ至ラス

本日ニ於ケル戰鬥經過附圖第三ノ如シ

三午後五時三十分大隊副官西野少尉ハ聯隊長ノ許
ニ招致セラレ大隊ハ伊藤部隊左側方向ニ轉進シ
テ戰局ヲ發展セシムヘキ意図ヲ受ケテ歸リ更ニ
午後六時三十分別紙第十一高作命甲第六十一
號ヲ受領シ別紙第十二長作命甲第十一號ヲ下
達シ明拂曉ニ於ケル轉進ヲ準備セシム
本日ニ於ケル戰鬥經過附圖第三ノ如シ
四夜中敵ハ屢々急襲射撃ヲ第一線ニ送レリ

十月二十八日 (附図第一参照)

一大隊ハ豫定ノ如ク古垣小隊(附小隊ヲ含ム)ヲ(子)高地ニ
残置シ午前五時三十分(子)高地出發^{午前六時}松北側高
地ニ兵力ヲ集結シ大隊長及各中隊長ハ聯隊長
ノ許ニ集合シ別紙第十三高作命甲第六十二
號ヲ受領シ同地東側凹地ニ進出シ衛村ヨリ来
レル第六中隊ヲ併セ高見澤少尉及渡辺桂尉ヲ
斥候トシテ前面ノ敵情地形特ニ伊藤部隊ニ
通スル進路ノ偵察ヲナサシムルト共ニ午前十時
大隊副官西野少尉及書記山本軍曹ヲシテ
伊藤部隊ニ連絡セシム西野少尉及山本軍曹ハ

伊藤部隊前面敵陣地ヨリスル猛烈ナル敵火ヲ
冒シテ断崖ヲ登降シテ伊藤、堤西部隊ニ連絡
シ午後一時三十分大隊ニ歸還シ前面ノ敵情友
軍ノ情況ヲ報告ス

ニ大隊長ハ右報告及諸斥候ノ報告ニ基キ(ヲ)高地方向
ヨリ(ハ)高地敵陣地ヲ右翼方面ヨリ西南方ニ向ヒ席
捲スルヲ有利ト認メ(ヲ)高地ニ前進シ攻撃ヲ準備ス
ルト共ニ聯隊長ニ意見ヲ具申セシモ容ル、所トナ
ラス伊藤部隊左翼方面ニスル前進ヲ準備ス

ニ午後七時別紙第十四高作命甲第六十三號ヲ受領シ
且ツ本夜暗ヲ利用シ伊藤部隊ノ後方ニ兵力ヲ集結
長 伊藤 第十 号 如 命

スヘキ命令ヲ受ケ別紙第十五長作命令甲第十三號
ヲ下達シ進路ノ偵察ヲナサシムルト共ニ前進ヲ準備
セリ

四工兵小隊ハ午後九時三十分ヨリ敵彈ヲ冒シ端^末作
業ニヨリ伊藤部隊ニ通スル高地後線交通壕ノ
構築ヲ開始セリ

十月二十九日

一午前三時三十分工兵ハ作業ヲ終了ス大隊ハ豫定ノ
如ク午前四時(ヲ)高地出發夜暗ニ乘シ工兵ノ構築
セル交通壕ヲ利用シテ敵ノ掃射ヲ避ケツ、(ヲ)高地
敵方斜面ヲ降リ午前五時三十分堤支隊位置

北側凹地ニ兵力ヲ集結シ堤支隊及伊藤部隊ニ連絡スルト共ニ前面ノ敵情地形ヲ偵察ス

ニ午前九時大隊長ハ聯隊長ヨリ電話ニテ別紙第十五高作命甲第六十四號ノ要旨命令ヲ受領シ別紙第十六長作命甲第十四號ヲ下達シ攻撃手準備ノ位置ニ就カシム

ニ我カ砲兵ハ午前九時ヨリ約一時間攻撃手準備射撃ヲ實施シ午前十時大隊ハ附圖第四ノ隊勢ヲ以テ攻撃手ヲ準備シ午前十時三十分突撃手支援射撃ニ膚接シテ第一線中隊ハ(夕)ノ高地ニ向ヒ攻撃ヲ開始セリ

敵ハ掩蓋銃眼ニ掩蔽セル側防機関銃ヲ以テ第一
線西中隊正面ニ猛烈ナル側射ヲ浴セ前進意ノ如
クナラサルヲ以テ大隊長ハ豫備隊タル第五中隊ヲ西中
隊中間ニ増加シテ(夕)高地東北角ヲ奪取セシメ戰
斗ノ進捗ヲ圖ラントセシモ敵ノ抵抗頑強ニシテ目的
ヲ達スルヲ得サリシヲ以テ砲兵歩兵砲協力ノ下ニ第
六中隊ヲシテ(レ)高地ヲ奪取セシメ大隊主力ノ攻撃
ヲ容易ナラシメントシ攻撃ヲ督勵シ午後一時第六
中隊ハ中隊長春日大尉率先勇奮敵ノ猛烈ナル
射撃ヲ冒シテ敵ノ第一線散兵壕ニ突入セルガ敵
ハ盛ニ手榴彈ヲ投擲シテ我カ突撃ヲ阻止シ加フ

ルニ第二線散兵壕ヨリスル機関銃ノ至近ノ距離ヨリ
スル斜射ニヨリ中隊長以下二十餘名ノ死傷者ヲ出シ
突撃頓挫スルニ至ル

又第七中隊正面ハハハ高地方面ヨリスル敵ノ側射
ヲ冒シテ階段斜面ヲ攀登シツ、敵ノ第一線散兵
壕ニ近迫セルモ敵ハ手榴弾攻撃ヲ以テ我突撃
ヲ妨害シ而モ階段ノ高カ約四米ナルノミナラス急
峻ニシテ一攀ノ突入ヲ許セス工事ヲ施シツ、攀登セ
ント努メツ、アリテ攻撃進捗セス在莚トシテ午後
二時三十分ニ至ル

諸報告ヲ綜合スルニ當面陣地ハ敵ノ諸抵抗地

帶ナルモノ、如ク敵ハ高地ニ反斜面陣地ヲ採用シ
陣内更ニ計画的火網ヲ構成シ其ノ抵抗極メテ頑
強ニシテ我砲火ハ威力ハ第一線散兵壕ヲ制壓
シタルニ止リ陣内ニ及ヒアラルモノ、如シ

四 此処ニ於テ大隊長ハ午後三時隊勢ヲ整理シテ重点
ヲ(夕)高地ニ指向シテ突撃ヲ復行スルニ決シ第六中隊
ヲシテ(ソ)高地中腹ヲ確保セシメテ大隊ノ左側ヲ掩護
セシメ第五中隊ヲシテ第七中隊ノ右側ニ轉進展開
セシメ西中隊ニ爾後ノ突撃ヲ準備セシムヘク先ツ
占領地點附近ノ確保ヲ命セリ

本日ニ於ケル戰鬥經過附図第四ノ如シ

五午後六時別紙第十七高作命甲第六十五號ヲ又
午後七時四十分別紙第十八高作命甲第六十六號
ヲ受領シ別紙第十九長作命甲第十五號ヲ下達
シ第五第七中隊ニ工兵援助ノ下ニ突撃陣地ヲ構
成シ爾後ノ攻撃ヲ準備セシム

大隊第一線ハ敵前至近ノ距離(四五十米)ニ對峙シ
夜間數次ニ互ル火力急襲ヲ受ケタルモ克ク其位置
ヲ固守セリ

(チ)高地ニ残置セシ第五中隊古垣小隊及附一小隊ハ
夜暗ヲ利用シテ大隊ニ復歸ス

十月三十日

一敵ハ昨夜未益ニ其ノ陣地ヲ增強スルト共ニ射撃ヲ以テ我突撃陣地構築ヲ妨害シ又砲兵迫撃砲ヲ以テ後方通路ニ對シ交通遮断射撃ヲ實施シ後方トノ連絡ヲ妨害ス

ニ大隊ハ工兵小隊ノ一部ヲ以テ又高地ニ在ル聯隊本部トノ間ニ交通設備ヲナサシムルト共ニ第一線中隊ヲシテ突撃陣地ヲ構築セシメ又歩兵砲ヲシテ(ヨ)高地ノ敵掩蓋銃眼ヲ破壊セシムルト共ニ砲兵ニ敵陣内要部ニ對スル破壊射撃ヲ要求セルモ敵陣地堅固ニシテ大ナル成果ヲ收ムルニ至ラス其火力依然熾烈ニシテ戦斗進捗セス

三午後七時四十分別紙第三十高作命甲第六十九號
ヲ受領シ別紙第三十一長作命甲第十六號ヲ下達シ
益々突撃陣地ヲ増強推進セシメタリ

夜間敵ハ数次ニ互ル火力急襲ヲ實施シ我カ工事
實施ヲ妨害セルモ第一線中隊ハ勇敢ニ作業ヲ進
捗セシム

十月三十一日

一大隊ハ引續キ第一線中隊ヲ以テ突撃陣地推進セ
シムルト共ニ歩兵砲ヲシテ(ヨ)(レ)高地ノ敵掩蓋銃眼
ヲ確保セシムルト共ニ砲兵ニ對シ敵陣内要部ニ對
スル破壊射撃ヲ要求ス

二敵ハ依然其陣地、增強ニ努ムルト共ニ射撃ヲ以テ我突撃陣地推進ヲ妨害ス

三午後二時大隊副官西野少尉及工兵中隊長田中大尉ハ聯隊長ノ許ニ招致セラレ爾後ノ攻撃ニ関スル要旨命令ヲ受領シテ歸ル

114

午後七時別紙第三ニ高作命甲第七十號ヲ受領シ別紙第三ニ長作命甲第十七號ヲ下達ス

午後八時別紙第二十四高作命甲第七十一號ヲ受領ス

四敵ハ火力急襲ヲ以テ我作業妨害ヲナスコト依然タリ

十一月一日

一大隊ハ高作命甲第七十一號ニ基キ中高地(ハ高地)
ニ對スル突撃ヲ準備ス

大隊長ハ午前十時各中隊長ヲ第一線陣地ニ集
合セシメ敵情地形ノ偵察ヲナスト共ニ突撃ヲ發起
位置構成ニ關シ指示ヲ其ヘエ兵ヲシテ端末作業
ニヨリ其ノ交通壕ヲ掘進セシム

我砲兵ハ主火力ヲ當大隊正面ニ指向シ敵陣地ノ
破壊ヲ實施ス敵ハ頻リニ小銃・機關銃射撃ヲ以
テ我行動ヲ妨害スルト共ニ迫撃砲ヲ以テ大隊正
面ヲ猛射シ若干名ノ死傷者ヲ出シタルモ極力準
備ノ進展ニ努力セリ

ニ午後七時別紙第二十五長作命甲第十八號ヲ下達
シ第五、第六中隊中小隊長等ノ幹部ハ午後七時
三十分夜暗ヲ利用シテ敵前ニ近迫シ突撃ヲ發起
位置ノ偵察ヲナレ兩中隊ハ午後十時一部ヲ推進
シテ工事ヲ實施ス

敵ハ夜中間断ナク射撃ト手榴彈トヲ以テ作業
ヲ妨害セシモ一名ノ負傷者ヲ出セシノミニシテ作業ハ
順調ニ進捗ス

本日ニ於ケル戰鬥經過附図第五ノ如シ

十一月二日

一機園銃中隊主力ハ午前四時(夕)高地出發(リ)高

地ニ陣地ヲ交換ス

大隊ハ後方陣地掩護射撃ヲ下ニ一部ヲ以テ突撃ヲ發起位置ノ工事ヲ増強セシム

午前七時別紙第二十六高作命甲第七十二號ヲ受領ス

我砲兵ハ引饒キ主火力ヲ大隊當面敵陣地ニ指向シ之カ破壊ニ努メツアリ

敵ハ依然小銃機関銃射撃ヲ以テ我作業實施ヲ妨害スルト共ニ狙撃砲ヲ以テ大隊正面ヲ掃射ス

ニ午後二時蟲中尉以下二百十二名ノ補充員ハ敵火ヲ

冒シテ大隊主力位置ニ到着シ士氣頓ニ昂ル
三午後七時別紙第二十七長作命甲第十九號ヲ下
達ス

四夜ニ入ルヤ敵ノ射撃ハ頓ニ活氣ヲ加ヘタルモ大隊ハ
依然作業ヲ續行ス

十一月三日

一午前三時聯隊本部ヨリ敵退却ノ徵アルノ電話
通報ニ接シ大隊ハ第一線各中隊ヲシテ斥候ヲ派
遣シテ前面ノ敵情ヲ搜索セシメ退却ヲ開始セル
ヲ知り直チニ第一線中隊ヲシテ(山)高地ヲ占領セシ
メ大隊主力ハ之ニ続行シ更ニ第七中隊ノ一小隊ヲ以

テ盟勝村ヲ占領シ敵情ヲ搜索セシメタル結果
全ク退却セルヲ知り追撃ヲ準備ス

時ニ旭日燦然トシテ東天ニ上リ恰モ明治節ノ佳節
ニ當リ連日惡戰苦闘セル敵陣地ヲ突破シ神靈
ノ加護ニ感謝シツ、東方ニ向ヒ遙拜ス

ニ午前六時三十分別紙第二十八高作命甲第七十
三號ヲ受領シ別紙第二十九長作命甲第二十號
ヲ下達シ盟勝村ヲ經テ敵ヲ急追中午前七時
三十分盟勝村ニ於テ聯隊長ヨリ大隊ハ大唐林
進出シ聯隊ノ集結ヲ掩護スヘキ要旨命令ヲ受
ケ別紙第三十長作命甲第二十一號ヲ下達シ大

唐林ニ向ヒ前進ス

第三、戦闘ノ成績

本戦闘ニ於ケル大隊ハ天嶮ヲ利用シ頑強ニ抵抗ス
ル優勢ナル敵ニ對シ十月二十四五兩日ニ亘リ南峪東
南方高地帶ノ要點タルホ(へ)ノ高地ヲ先取シ右
翼隊ノ戦闘ヲ有利ナラシムルト共ニ堅忍持久シ
テ惡戰苦闘盟勝村西北側高地ノ敵陣地帶ノ
大部ヲ突破シ敵ヲシテ遂ニ退却ノ餘儀ナキニ
至ラシメタリ

第四、參考ト爲ルヘキ所見

一、本戦闘地ハ地形全ク地圖ト異ナル地隙ノ錯綜ナリ

シノミナラス敵ノ陣地ハ一連ニ設備セラレ内部ニ潜入
偵察ヲ許サル状態ニシテ飛行機ノ空中寫眞
ニヨリ地形並ニ敵陣地ノ状態ヲ知り得ハ戰鬥指
導上極メテ有利ナリシト思惟ス

ニ本戰鬥ノ如キ山地戰ニ於テハ砲兵ノ連絡者ヲ第一
線歩兵大隊長ノ許ニ派遣シ歩砲ノ協同ヲ緊
密ナラシムル要アルモノト認ム

ニ敵ハ陣地ノ一部ニ反斜面陣地ヲ採用シ之ニ對スル
砲火ノ威力及ハサルコトアリシヲ以テ飛行機ニヨル射
彈觀測等觀測方法ヲ採ル必要アリシナラン
四階段斜面ヲ攀登シテノ突撃ニ際シ敵ノ手榴

彈攻撃ノ爲頓挫セシコトアリ對手榴彈戰ヲ研
究訓練ノ要アルモノト認ム又我看発手榴彈ハ
不発多シ

五敵火ノ下ニ於ケル作業ハ尙一層訓練スルヲ要ス

六峻峻ナル地形ニ於ケル機関銃臂力搬送能力ハ
尙一層訓練ヲ要ス

七掩蔽部ノ構築ノ爲材料ナキメ崩壊シテ危険
ヲ醸セルコト多シ材料ナキ場合、經始ヲ研究スルノ要
アリ

八兵團ニ傷者ノ收容後送ノ能力ナキ衛生班アルノミナ
リシヲ以テ傷者ノ收容後送ノ爲第一線兵力ヲ減

少セント多シ斯クノ如キ場合ノ收容後送ノ機関ニ
就テ研究シ置クヲ要ス

123

1065

高作命甲第五十七號

右翼隊命令

十月二十三日午後六時三十分
於水田灣部隊本部

一 當兵團正面彼我、態勢別紙要図、如シ

板垣兵團主力ハ蘆島部隊、來着ヲ機トシ明二十四日重點ヲ本
道西側高地ニ指向シ一撃ニ敵陣地ヲ突破ス

當兵團ハ板垣兵團、攻撃ニ策應スル如ク明二十四日拂曉ヨリ重點
ヲ右翼ニ保排シ敵陣地ヲ攻撃シ大唐林北方地区ニ進出ス

ニ 右翼隊(304(四)伊藤部隊(小隊等))12 BAS 一中隊ハ明拂曉迄ニ麻港村

南方水流、線ニ展開砲兵、突撃支援射撃ニ膺接シ南峪南方

高地ヲ奪取シ以テ東南方ニ戦果ヲ擴張シ大唐林北方地区ニ進出セントス

攻撃ノ重點ヲ右翼ニ保持シ之ヲ南峪東南方閉鎖曲線高地ニ指向ス

左翼隊(161主力)ハ本薄暮迄ニ現ニ堤支隊、占領シアル地區ヲ併セ

守備シ兵團主力ノ攻撃ニ協力ス

砲兵隊ハ主力ヲ以テ魏家庄及其ノ西方高地ニ陣地ヲ占領シ又エ兵

隊ハ主力ヲ以テ共ニ右翼隊ノ戦斗ニ協力ス

砲兵隊射撃實行計畫左ノ如シ

(イ) 攻撃準備射撃 午前八時ヨリニ時間

(ロ) 突撃支援射撃 午前十時ヨリ三十分間次テ三十分間シテ三十分間

三 第一大隊(第一中隊欠)ハ本ヨリ三日薄暮ヲ利用シ第一中隊ト具ノ位置ヲ

交代シ明午前六時迄ニ麻港村水流ノ線ニ展開シ南峪東南方高地

ニ對スル攻撃ヲ準備スヘシ

四 第二大隊(一中隊附一小隊欠)ハ中第一線

午前六時迄ニ第一大隊ニ連繫シ其ノ左翼ニ展開シ同高地東側ニ對

スル攻撃ヲ準備スヘシ

五 兵中隊(一小隊欠)ハ第三大隊ノ戦斗ニ協力スル筈

五 伊藤部隊(二小隊附一小隊欠)ハ中第一線

午前六時迄ニ第三大隊ニ連繫シ其ノ左翼ニ展開シ同高地東北方高地

ニ對スル攻撃ヲ準備スヘシ

六、戦斗地境展開線並ニ攻撃目標、細部ハ現地ニ於テ指示セル通りトス
七、攻撃ノ時期ハ別命ス

八、山砲兵中隊ハ現陣地附近ニ在リテ主力ヲ以テ南峪南方用鎖曲線高地ノ一部ヲ以テ同高地ヲ射撃シ得ル如ク明拂曉迄ニ準備シ完了スヘシ
九、RIA中隊ハ現陣地附近ニ在リテ先ツ南峪北方地区ノ敵ヲ制壓シタル後南

峪南方用鎖曲線ノ敵陣地ニ對シ射撃シ得ル如ク準備スヘシ

TIA中隊ハ現陣地ニ在リテ南峪東西ノ敵側防機能ヲ求メテ射撃シ得ル如ク準備スヘシ、射撃開始ノ時期ハ別命ス

百、第一中隊長ハ第三大隊ノ附一小隊ヲ併セ指揮シ本薄暮ヲ利用シ現第一大隊ノ位置ヲ交代シ兵團ノ右翼ヲ掩護スヘシ

伊藤部隊ノ一小隊ハ同部隊ト其ノ位置ヲ交代右翼隊ノ左翼ヲ掩護スヘシ
其ノ交代ハ同部隊出發迄ニ完了スヘシ

二、第三大隊ノ一中隊ハ豫備隊トス暫ク水油灣ニ在ルヘシ

三、通信班ハ本部ト第一第三大隊並ニ兵團本部間ニ通信網ヲ構成スヘシ

伊藤部隊長並ニ山砲兵中隊長ハ其ノ有スル通信器材ヲ以テ本部トノ
連絡ニ任セシムヘシ

三、大小行李ハ暫ク現在地ニ位置スヘシ

四、予ハ暫ク現在地ニ在リ明掛曉迄ニ水油灣西方高地ニ至ル

右翼隊長

猪鹿倉大佐

下達法

各隊長ヲ現地ニ集メ指示シタル後口達筆記

注意

一、各隊ハ常ニ國旗ヲ以テ第一線標示シ置クコト

二、各隊ニ傳子ヲ分配スルニ付キ本部ニ受領ノ上携行ノコト

別紙第二

長作命甲第五號

第二大隊命令

十月二十三日午後七時三十分
於水油灣寺院

一敵情及友軍、状況高作命甲第五十七號ノ如シ

二大隊(第六中隊附一小隊欠)ハ右翼隊中第一線トナリ

明二十四日午前六時迄ニ第一大隊ノ左翼ニ展開シ

南峪東南方高地東側ニ對スル攻撃ヲ準備セントス

三各隊ノ明二十四日ニ於ケル展開態勢ハ本日現地ニテ指示セ

ルカ如シ

各隊ハ明二十四日午前二時聯隊本部ニ通スル道路上ニ第五

中隊第七中隊附中隊(一小隊欠)歩兵砲小队工兵小队ノ

順序ニ路上縱隊ニ集合スヘシ

四第六中隊ハ即時聯隊本部ノ位置ニ至リ豫備隊トナリ

又MG一小隊ハ第一中隊長ノ指揮ヲ受ケヘシ

五給養ハ尋常糧秣ニ依リ二十四日一日分ヲ携行スヘシ

六月八日午前二時大隊ノ先頭ニ在リ

大隊長

長澤少佐

下達法

命令受領者ニ口達筆記セシム